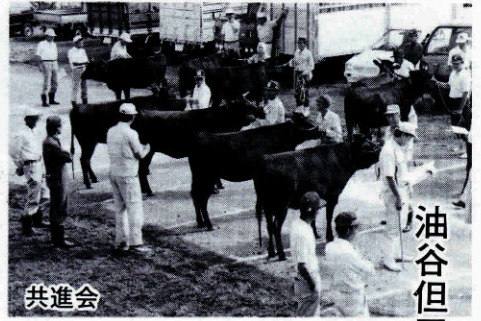


油谷但馬牛の産地化



共進会

畜産振興につきましては、高級肉牛産地化のため但馬牛の導入を行っていましたが、現在、導入牛、帰属牛、自家保留牛等合わせて三三四頭を数え、産地化のための基礎頭数を確保したところであります。今後は優良産子の保留に重点を置き、関係機関等と協

びわの特産品化を

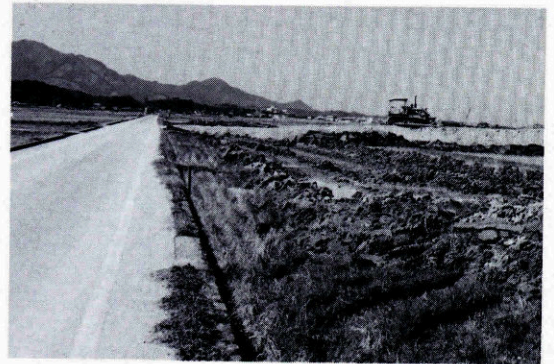
特産品「びわ」の振興につきましては、昨年に引き続き、本年は、ハウス施設一三棟の〇・五haを設置するため、かんきつ転換作物導入事業として実施し、又、露地栽培面積一・七haを新規に植栽する計画で、平成二年度事業と合わせてハウス栽培面積〇・八ha、露地栽培面積三・三haの栽培

議しながら基金を造成する等畜産農家の現状を充分検討しながら更に飼育頭数の拡大をはかって参る考えであります。又、肥育については、現在雄子牛の肥育が主流でありますが、雌子牛についても先進地の新技術を導入し、輸入自由化に対応できる高級肉油谷但馬牛のブランド化を確立することといたしております。平成元年度より向津具農協が進めております泉団地畜産センターも本年度畜舎建設等を終り事業が完成し、草地四・〇五ha、繁殖牛四〇頭、肥育牛一八〇頭の飼育が予定され、畜産農家の活性化に大きく貢献するものと期待いたしております。



ビワのハウスづくり

となり、平成四年度から新下関青果市場等へ出荷する計画であります。



河原ほ場

平成三年度より河原地区ほ場整備事業に

六億六〇〇万円

ほ場整備事業につきましては、農業基盤整備の中核をなすものであり積極的に進めて参った処であります。平成三年度より河原地区が新規採択され、総事業費六億六〇〇万円、区画整理面積七四haで、このうち四分の一にあたる一八ha以上の面積については、一ha区画として造成する高生産大区画ほ場整備事業として県営で実施されます。又、これと併せて農地流動化特別促進実験事業として取組む事となっております。団体営浅井地区は、平成三年度で面

森林資源の造成と林道整備の継続

また、第三期山村振興農林漁業対策事業として平成二年度に着手した綾古、大長農道は、平成三年度で完成いたします。

林業につきましては、森林資源の造成と緑を守るため昨年に引き続き松くい虫被害防止のため、薬剤空中散布八七〇ha、被害立木の伐

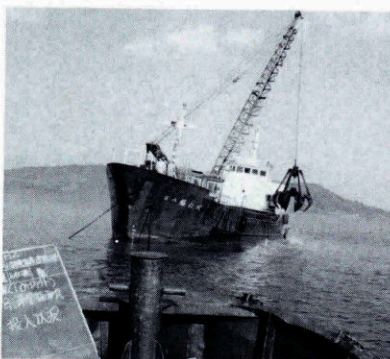
築礎事業に

一億二、四〇〇万円を計画

次に水産業であります。昨年の漁獲量、漁獲高ともに増加しており、魚価に

ついて、ほぼ安定傾向にありますことは同慶にたえません。しかしながら、過疎化、漁業従事者の高齢化や後継者の問題が深刻化しつ

倒駆除一、〇〇〇㎡を実施いたします。又、造林については、三本松町有林外五・七七haを計画し、特に丘陵地について新しく「いちよう」の樹種を入れる計画であります。林道整備については、林業構造改善事業油谷北線、牛ヶ迫線、広域基幹林道白滝線をいづれも継続実施し、林業基盤の整備を進めて参ります。



漁場造成工事

つある現在、長期的視野に立つて漁協合併を考えた生活安定基盤を築く事が、今後の重要課題と考えています。長門海域総合開発事業は引続き海域磯設置、磯根漁場造成、大型漁礁設置、油谷地区人工礁設置、又、新